



▲厳島神社でデフあわじふくろう連 記念撮影 2025. 8. 2

私は、初めて淡路島まつりに参加させていただきました。8月初旬で暑い中だったので、地域の方々や入居者さま、施設職員の皆さんの協力により無事に終え、楽しむことができました。淡路島まつりでは、阿波踊りの伝統的な文化体験で、貴重な経験をさせていただきました。音楽と連動している点で、リズムやテンポを合わせながら入居者と一緒に道を歩いて行きました。入居者さまの笑顔や満面の笑みを見ることができ、私も感動しました。

長い歴史を持ち、地域の人々の力を合わせて作り上げられている迫力のあるお祭りの雰囲気を感じられる点が、すごく良かったです。又、太鼓の音、鈴の音、そして踊の迫力、生で見る阿波踊りは、想像以上に感動的でした。入居者さまにも日々の施設内で過ごされておられることが多く、たまにはお外に出ていき、いい空気を感じながらストレス軽減や楽しみも作ってあげる時間も必要だと感じました。私も、貴重な経験ができ、日々の日常生活に活かしていきたいです。

(生活援助員 畠 ひづる)



▶祭りの出発前に、助六寿司を食べて、栄養チャージ!!

▶ 順番の時間が来るまで、神社で待機。法被を着た保育園児達の姿も見ることができました。



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会

一人ひとりを大切に(人権)

ともに生きる(共生)

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

〒656-0002

洲本市中川原町中川原 28 番地 1

TEL : 0799-25-8550

FAX : 0799-25-8551



右のQRコードから
ホームページをご覧ください。

日の出日の入りから、秋は近づいてきていると感じますが、気温はまだまだ夏のままです。今年11月15〜26日、東京で聴覚障害者のオリンピック、『デフリンピック』が開催されます。大会を盛り上げようと6月から岩手を皮切りに、キラパンカーが日本中を駆け巡っています。淡路島では、9月18日の午前に、徳島からやってきたキラパンカーが、南あわじ市↓洲本市↓淡路市を走ります。見かけた方はぜひ、両手をヒラヒラと手話の拍手で応援よろしくお願いします。他にも9月23日は「手話言語の国際デー」です。イメージカラーのブルーが全国のあちこちでライトアップされる予定です。

故人を偲んで

8 月 13 日(水)に偲ぶ会が行われました。

昨年の 8 月から今年の 1 年間で 11 名の方がお亡くなりになられ、偲ぶ会に集まって下さいました入居者さまと、故人の思い出をお話させていただきました。

「A さまは、おせんべいが大好きだった。」「B さまは、字がとってもきれいで絵もすごく上手でした。」「C さまはご夫婦でふくろうの郷に入居され、とても仲が良い夫婦であった。」等、当時の思い出をお話すると、入居者さまは「そうだったんだ」「顔は覚えてないな」「この人は覚えている」と話されておられました。



その後、松栄寺へ入居者代表で吉見さま、勝楽さま、小玉さまの 3 人で参拝させていただきました。

迎え火を炊き、故人さまが好きだったお酒や和菓子をにお供えして手を合わせました。

お墓から見える景色はともきれいで故人さまたちは洲本の四季折々の景色を楽しんでいらつしやることかと思えます。

前日には雨や雷もなっていたのでお天気が心配でしたが、日差しも強くなくお天気に恵まれた参拝日となりました。

今回初めて偲ぶ会の担当となり思ったことは、死を悲しむだけで終わらせるのではなく、故人を思い馳せ忘れないことが大切なんだと感じました。

(生活援助員 須藤 真奈美)

案山子 10 体 完成

毎年恒例の案山子作りを 8 月 23 日(土) 24 日(日)に地域の方々の多大なるお力添えの下、入所者の方、職員の皆さんと共に案山子を作ることが出来ました。

23 日(土)は地域の方と共に竹材の調達から骨組み作りを行い、職員、入所者の方と共に「これ可愛い、こっかが綺麗」など和気あいあい話ながら案山子の着物選別まで行いました。

24 日(日)は昨日作成の骨組みに選定した着物を大勢の地域の方に来て頂き、入所者の方、職員と共に着せ表情も色付けにて美男美女の案山子を 10 体作成することが出来ました。

入所者の方は普段のイベントにあまり参加されない方も「縫物、着物の選定」に興味を示され、大勢参加して頂きました。

地域の方々には 2 日間にわたり暑い中お力添えを頂きありがとうございました。

(生活援助員 坂本 昌之)



すいか割り



7 月 30 日(水)夏の暑さを吹き飛ばすために、夏の風物詩であるスイカ割りを開催いたしました。車いすに座られて、スイカに手が届かない方には、大きなスイカ風船を使用しました。割るところを皆さまが見れるようにすると、割る時の応援や、割った時の拍手が起きていました。

スイカを割ったあとは、スイカを食べやすい様に一口サイズにし、種をとった上で、入居者の皆さまに食べていただきました。固形物を食べることが出来ない

方には、調理師が柔らかくソフト食に加工して食べていただきました。皆さまからの声はとても良かったと評判を頂き、スイカ美味しかった！との声が多く、笑顔も見せていただけました。来年もスイカ割りをまた行いたいと思います。
(生活援助員 石黒裕規)



9 月ふくろうの暮らし

- 9/1(月)ふくろう理髪店
- 9/2(火)ふくろう大学(演劇)
- 9/3(水)誕生日会
- 9/6(土)回想法
- 9/9(火)ふくろう工房(作業)
- 9/10(水)手話講座
- 9/13(土)ふくろう敬老会
- 9/14(日)淡聴協敬老の集い
- 9/17(水)避難訓練
- 9/20(土)ふくろう大学(書道)
- 9/19(火)ふくろう大学(絵手紙)
- 9/24(水)料理講座
- 9/30(水)ふくろう喫茶

第 19 回ふくろうふれ愛まつりの PR

日時：2025 年 10 月 26 日(日)

11:00 ～ 15:00

場所：淡路ふくろうの郷

内容：キッチンカーが来ます。

※大型バスの駐車場はございません。

各自でご用意ください。

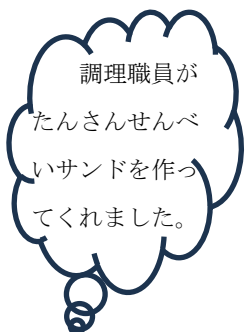


◎ちぎり絵



気持ちよくお風呂に入っている絵や食事を楽しんでいる絵をみんなで貼りました。

◎ふくろう喫茶



◎絵手紙

パプリカ、とうもろこし、花火、ししとうを描きました。



◎料理講座

ホットプレートでお好み焼きを作りました。キャベツを切ったり、粉を混ぜたり、みんなで協力しながら美味しいお好み焼きが完成しました。



淡路聴覚障害者

センター便り

第4回

社会生活教室

高齢期を 元気に生きる



洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3 階

第4回目となる社会生活教室は 8 月 13 日(水) 洲本市健康福祉館で開催しました。

今回講演をお願いした山田幸夫氏は現在 78 歳。明石ろうあ協会の会員で明石市の観光ボランティア他ろう歴史学会や手話教室での講師など幅広く活躍されています。山田氏の人生から高齢期を元気に生きるヒントを学びたいと 20 名が参加しました。

「聞こえなくてもできるを証明」ろう者の採用が広がる

4 人兄弟の末っ子で甘えん坊、いつも兄の後ろを歩いてきたそうです。聾学校に入学



▲話題の多さ、元気に圧倒されました

を証明することができ理解に繋がり、障害者雇用促進法が施行されたこともあり、聴覚障害者の採用が増えました。周囲からも随分と「お前のおかげだ」と言われてうれしかったです。

妻の病気がきっかけで、病院の手話通訳設置につながる

妻が病気にかかり、理解のある看護師との出会いによって、納得のいく治療が受けられるようにと要望もしました。病院側も配慮してくださる。今では予約なしで、市立伊丹病院を受診しても手話通訳者がいるので安心です。

手話通訳者が育ててほしいと様々な活動を

定年後の生活は、行事や講演などに参加し、気になった



▲質問、意見を発表する奥井大さん

講師自身が楽しめる講習会を！

手話奉仕員養成講座講師研修会 8/23

神戸ろう協理事の井上健司氏に来ていただき、手話奉仕員養成講座を担当している 8 名が「講師の心構え」についてお話をお聞きしたり、実際に指導している中で、悩みや困っていることについても、助言いただきました。

冒頭、講師から「講師自身が楽しめていますか？」との問いかけがあり、まずは自身の姿勢を振り返るところから始まりました。ろう講師、健聴講師お互いの協力、一人ひとり

の受講者の頑張りを認める、指導書を作ると目的や時間配分ができ安心できる、とのお話。

参加者から「参考になった」「講師も受講生も楽しめる講習会を目指したい」などの感想が聞かれました。(吉川)



▲講習会を振り返る機会となった研修会

ことを更に調べたり様々なものにするなど、コツを教えることに興味深々です。そのことを手話サークルに持つて行き、情報を共有するな心で人との関わりが好きな山田氏からたくさんの方を教えます。常に手話通訳者を育てたい、という思いが強い方法の参考となった一日でした。(瀬田)



中川原 地域ふれあい便り

発行団体：中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター運営委員会

住 所：〒656-0002 洲本市中川原町中川原222-2

TEL:0799-28-0990 又は 28-0991 FAX:0799-28-0992

デイサービスセンター桜ヶ丘に見学、体験に来られませんか？



レクリエーション



身体を動かしましょう！



汗を流したあとはかき氷！おいしいね！



	月	火	水	木	金
ご利用いただける曜日	○	○	○	○	○
入浴いただける曜日	○	○	○	○	○

お問合せは 0799-28-0993 デイサービスセンター桜ヶ丘吉川まで

個人情報の保護等・感染症対策実践研修 ふれあいセンター



8月28日(木)午後5時から6時、ふれあいセンター職員を対象とした「個人情報の保護及びプライバシー保護に関する研修」・「嘔吐時対応研修訓練」を実施しました。「個人情報の保護及びプライバシー保護に関する」では、研修動画教材を活用し、個人情報保護法の基本的な理解を深めるとともに、介護現場で起こり得

る情報漏洩の事例を通じて、利用者の尊厳を守るための具体的な対応策を学びました。

特に「福祉介護の施設職員のための研修」では、日常業務に潜むリスクとその予防策が明確に示され、職員一人ひとりの意識改革の必要性を強く感じました。また、ケアの中での細やかな配慮が、利用者との信頼関係の構築につながることを改めて認識する機会となりました。



「おのころの家」ご利用募集

- 対象者：就労継続支援B型を希望される方
- 活動内容 ・焼き菓子・菓子パンの製造販売
・塩のゴミ取り、パック詰め作業
・地域委託業務(トイレ清掃など)



- 営業日：月・火・水・木・金（休業日：土日）
- サービス：食事提供・送迎有(淡路島全域対応)
- ☆お問い合わせ：
☎：0799-28-0995 FAX：0799-28-0992
ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

さらに、実施された嘔吐時対応研修訓練では、感染症対策の重要性を再確認しました。嘔吐物には強い感染力を持つ病原体が含まれている可能性があり、処理方法を誤ると職員や他の利用者への感染拡大につながることを学びました。

今後は、研修や訓練で得た知識と気づきを職場内で共有し、利用者が安心してサービスを受けられる環境づくりに努めてまいります。

(研修担当 橋詰)

ひょうご聴障ネット

夏の学習会に参加して

8月17日(日)午後1時30分から、神戸市長田区文化センターにてひょうご聴障ネット夏の学習会が行われ、焼き菓子販売を行いました。会場に到着し、利用者さんと一緒に販売の準備を行いました。

なかなかお客様が来られなかったので少し心配しましたが、休憩時間になると沢山の方に来ていただき、利用者さんも積極的に販売を行って

ました。何人かのお客様に「今日もパンの販売はないの？」と尋ねられました。

学習の内容もとても興味深いものでした。これまでニュースや報道などで色々見聞きしていましたが、弁護団の立ち上げから40人になった経緯など、様々なお話を聞くことができました。参加して良かったです。

(おのころ屋 山田)

★玉ねぎ販売完了★
ご協力頂き誠にありがとうございます
ございました。

神戸長田ふくろうの杜

〒653-0836 兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1
電話 0778 798 7940
FAX 0778 798 7941

新戦力!ふくろうっくに

学生アルバイトさんがやってきた!

子ども達の利用時間が長くなる夏休み、はじけるばかりの子ども達のエネルギーを受け止めるべく、今年度は学生アルバイトさん3名に来てもらいました。アルバイトさんにもきこえにくい・きこえない子どもと関わることでろう教育に関心を持っていたただけのように思います。

3名とも手話ができており、子どもたちそれぞれのコミュニケーションツールに合わせながら関わっていただきました。子ども達は「お兄さん!お姉さん!」と大喜びでした。ハグしてもらったり、子どもを抱いて回転してみたり、普段なかなかしてもらえない体力を使った遊びをしてもらえてうれしそう!「アニメや漫画など共通の話題ができてうれしかった!」「お兄さんと鬼ごっこするのが楽しい!」「大学生活などの話が聞けて為になった!」など楽しい

感想が寄せられています。アルバイトに入ってくれた学生達からも感想をいただいています。



何を話しているのかな?

★三木さん★
(大学4年生)

自分が手話を使う機会を増やしたかったこと

と塾でアルバイトをしているためその経験が活かされたらと思ったのが応募のきっかけです。

仕事をする中で、集団行動をする上で、一人ひとりの自主性や個性を尊重しながら関わることの難しさを感じました。また、ふくろうっここでは勉強だけでなく様々な遊びを実施することで、子どもの発達発育を促し、安心して子どもを預けられる場所だと感じました。短い期間でしたがふくろうっこのみんなに元気をもらえました!一緒に勉強したり遊んだり、とても楽しかったです!またどこかで見かけた時は声をかけてください。

以前から地域のサークルに所属するなどして手話の学習に取り組んでおり、そこでの交流等を通して職員の方から学生アルバイトを紹介していただき応募しました。

仕事をする中で、子ども達の元気すぎる様子に疲れることもありましたが、それ以上に楽しい日々を過ごすことができました。また、職員と子ども達の関係性が非常によかったです。コミュニケーションが上手く取れない場面も何度かあったが、諦めることなく関わることで少しずつ気持ちが汲み取れるようになったのではないかと思います。夏休みの長いようで短い期間でしたが、みんなと色んな場所に行ったり、疲れるまで遊び回った時間はとても楽しかったです!また会うことがあったらみんなのお話も色々聞かせてほしいなあ。



笑顔!

★米津さん★
(大学4年生)

★渡邊さん★(大学1年生)



仲良くなりました!

幼い頃からろうの方と関わっていたので興味がありました。また、教育者志望なので子ども達と実際に関わって、現場でしか学べないことを体験し、将来に活かせると思って応募しました。子ども達は手話のみでしか話せないと思っていたけれど人工内耳などで、意思疎通がしつかりできていたことに驚きました。職員の方も手話が堪能で、自分は手話ができておらず、ろう者の方と立場が逆転した気持ちになり、手話をもっと覚えて会話に入れるように努力しようと思いました。子ども達は元気過ぎます!みんなが楽しんでいる姿を見ると元気が出るのもっともっと楽しんでる姿を見せてください!

★子どもたちや私たちスタッフ、また学生バイト達にとっても、それぞれエネルギーシユな夏休みでした。学生さんには社会に出た後もその経験を還元、どんどん活かして欲しいと思います。(放課後等デイサービス 管理者 山本芙由美)